

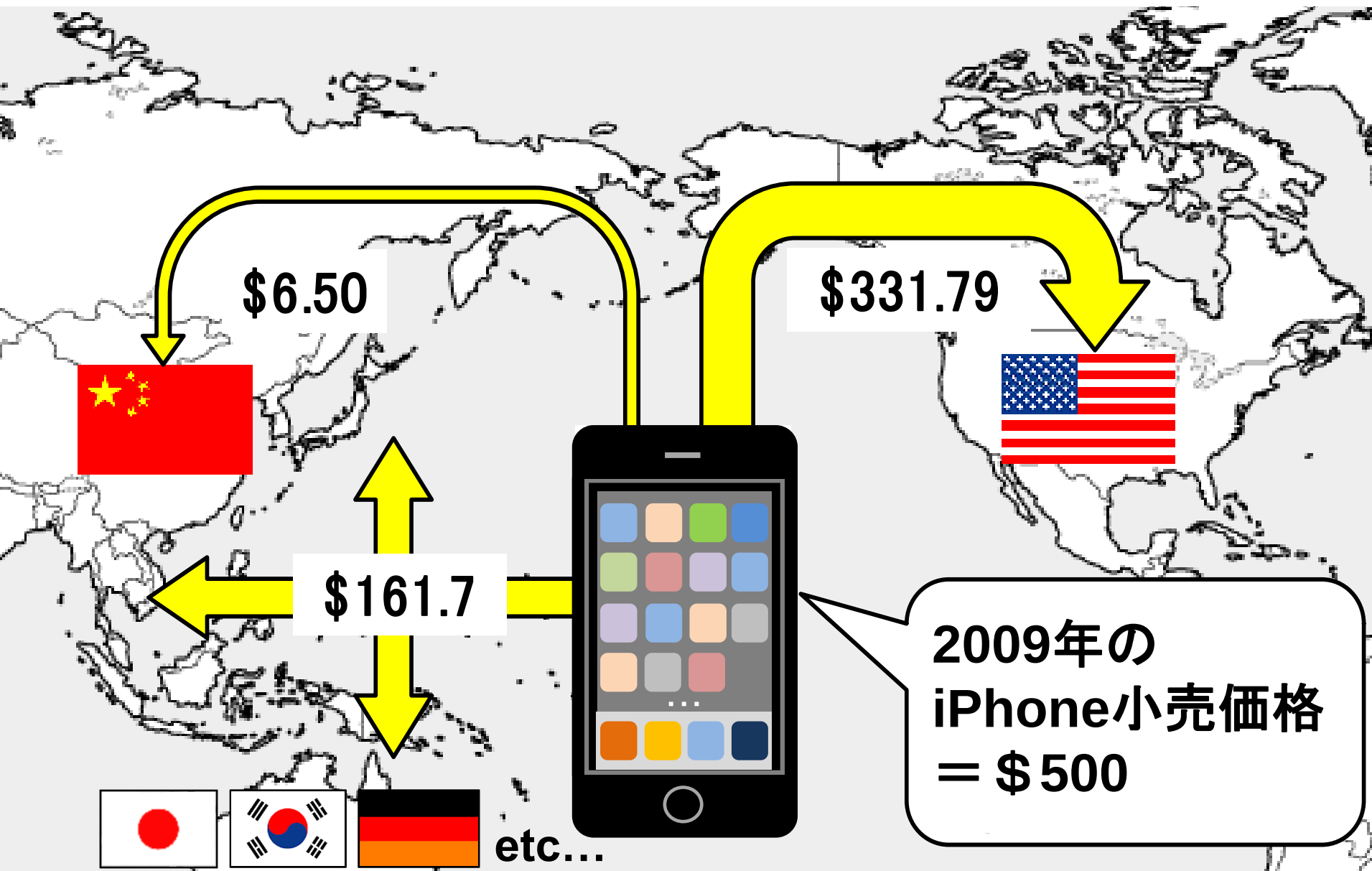
BBLセミナー プレゼンテーション資料

2020年5月15日

「ポスト・コロナ世界のグローバル・バリューチェーン」

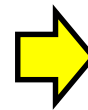
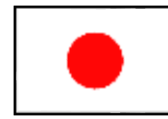
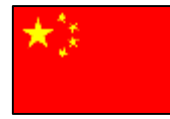
猪俣 哲史

iPhoneの国際価値配分



iPhone3Gの部品単価

製造業者	部品	部品単価 (USドル)	各国付加 価値シェア
東芝(日本)	フラッシュメモリー	24.00	12.12%
	ディスプレイ・モジュール	19.25	
	タッチスクリーン	16.00	
村田製作所(日本)	FEM	1.35	6.03%
インフィニオン・テクノロジーズ (ドイツ)	ベースバンド	13.00	
	カメラ・モジュール	9.55	
	RFトランシーバー	2.80	
	GPS受信機	2.25	
	パワーIC RF機器	1.25	
ダイアログ・セミコンダクター(ドイツ)	パワーIC アプリ・プロセッサー	1.30	4.59%
サムスン電子(韓国)	アプリケーション・プロセッサー	14.46	
	SDRAM-モバイルDDR	8.50	2.15%
ブロードコム(米国)	ブルートゥース/FM/WLAN	5.95	
ニューモニクス(米国)	メモリMCP	3.65	
シーラス・ロジック(米国)	オーディオ・コーデック	1.15	
その他		48.00	9.60%
部品総費用		172.46	
組立加工費用(中国)		6.50	1.30%
製造費用		178.96	
流通マージン等		321.04	64.21%
製品小売価格		500.00	100.00%



商品企画

研究開発

部品生産

組立加工

物流

営業・販売

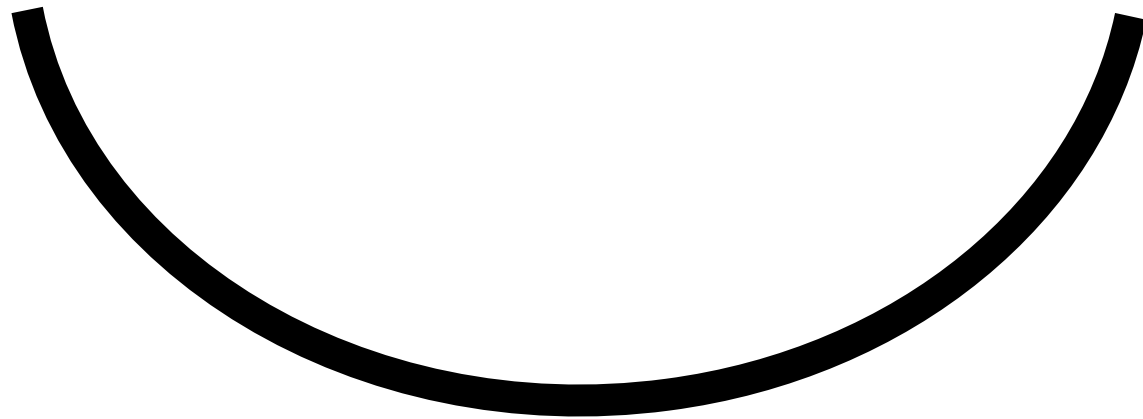
アフターサービス

*“Designed by Apple in California,
Assembled in China.”*

付加価値



「スマイル・カーブ」



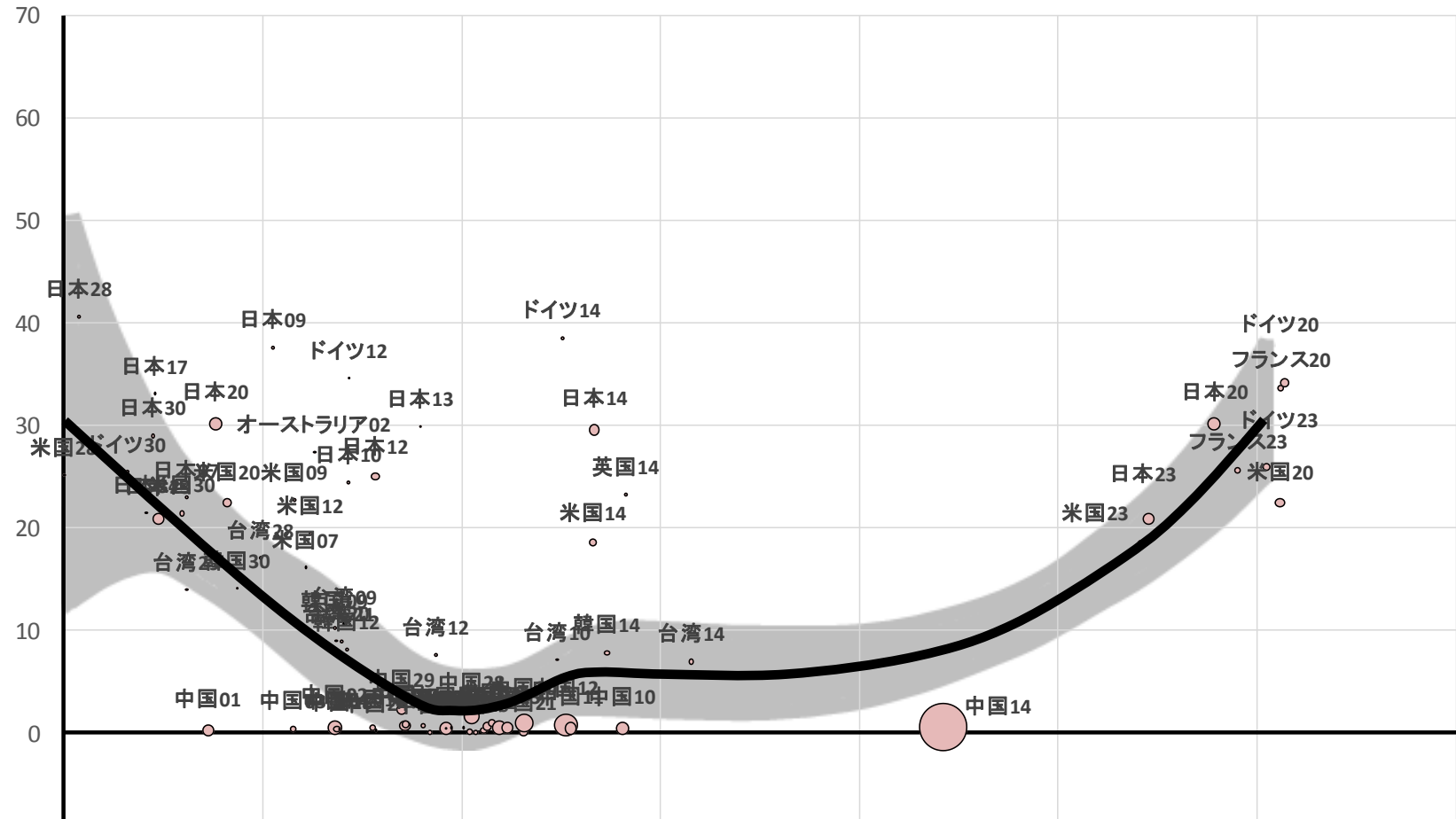
生産工程

- 商品企画
- 研究開発
- 部品生産
- 加工・組立
- 物流
- 営業・販売
- サービス
- アフター

中国のバリューチェーン

電気機器：1995年

平均賃金 (時給: USDドル)

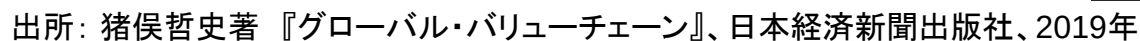


上流産業

下流産業

出所：猪俣哲史著 『グローバル・バリューチェーン』、日本経済新聞出版社、2019年

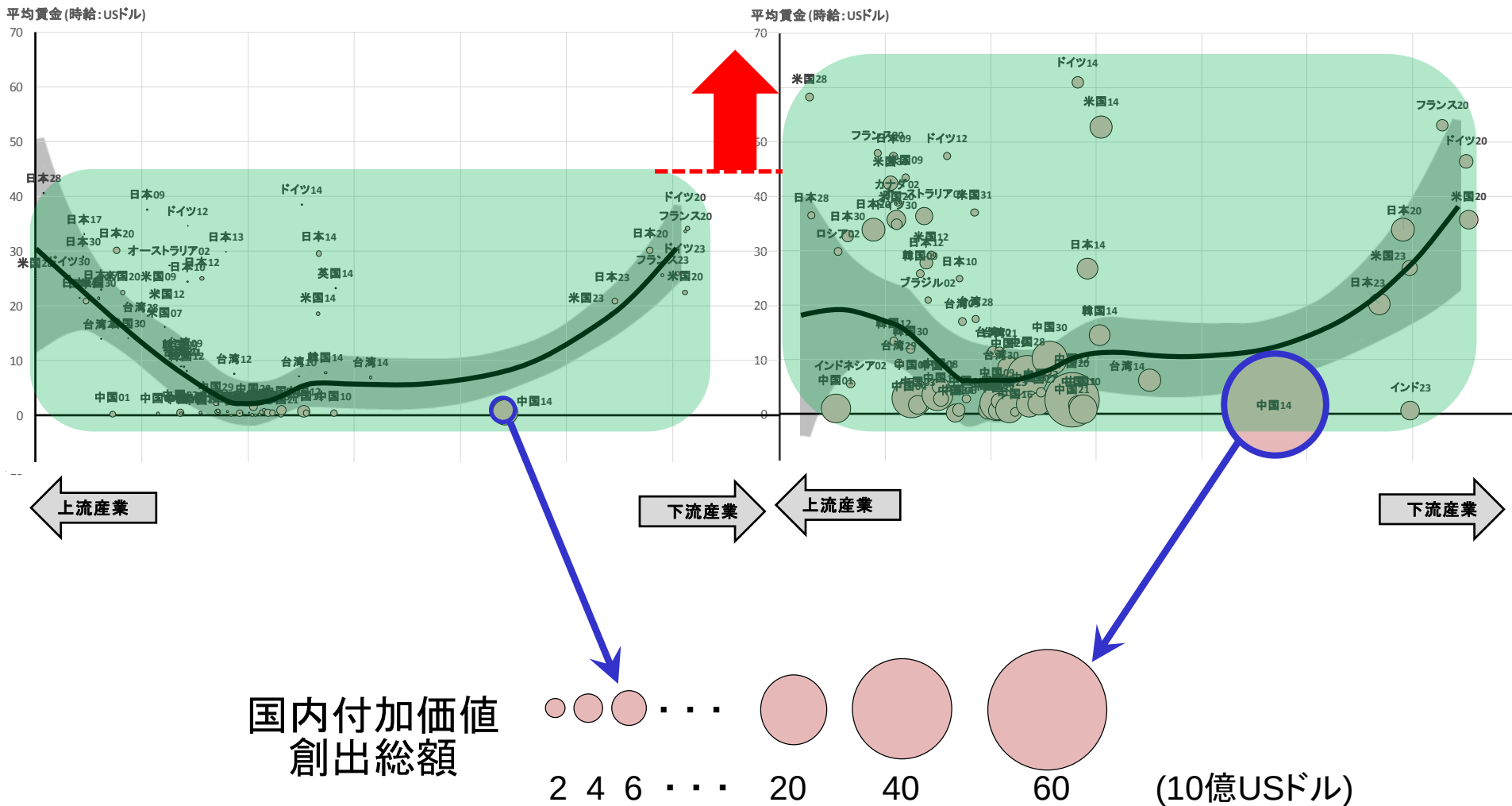
電気機器：2009年



国際生産分業の深化

1995年

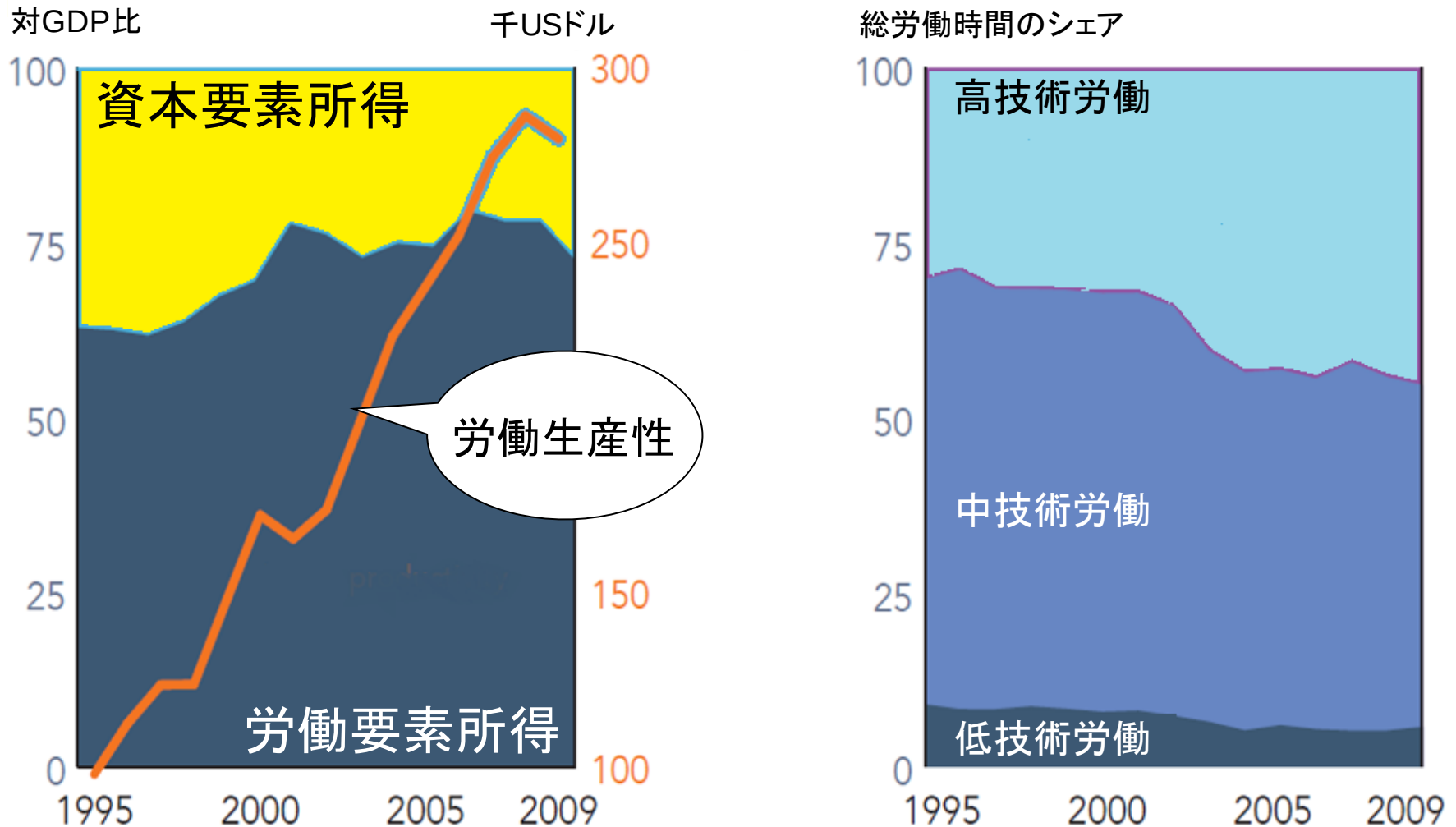
2009年



GVCの恩恵

- (1)生産資源の最適なグローバル配分を可能にし、先進国企業の生産性と市場価値を大いに高めた。
- (2)途上国による国際生産システムへの参加を促し、その国内雇用（非熟練労働）を創出。さらに、技術移転を通じて経済発展を助けた。
- (3)消費者の立場では、国際貿易が活発になることで、バラエティ豊富な外国製品を安く手に入れることができる。
- (4)国際関係の安定化に貢献。国境を越えたコミュニケーションが増え、誤解や疑心暗鬼からくる相互不信のリスクを低減させる。

米国ICT産業の要素所得分配の推移： 1995-2009年



* 「米国国防権限法」 2018年8月

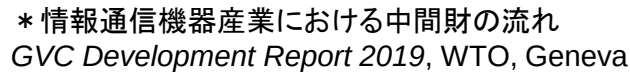
ファーウェイなど、中国のICT機器・ICTサービス関連会社を政府調達の対象から除外。また、その製品を利用している企業が米国政府機関と取引することも禁止。

→ 情報通信サプライチェーンから
ファーウェイを徹底排除。

* 半導体製造装置の対中輸出制限

→ 中国政府による半導体の自給率
引き上げ計画に大打撃。

ファクトリー・ 北アメリカ



- ・法体系、技術体系、環境基準、労働基準
- ・経済体制、政治体制 ・宗教、思想、言語、文化・・・？

國際競爭力 **制度** 國際競爭力

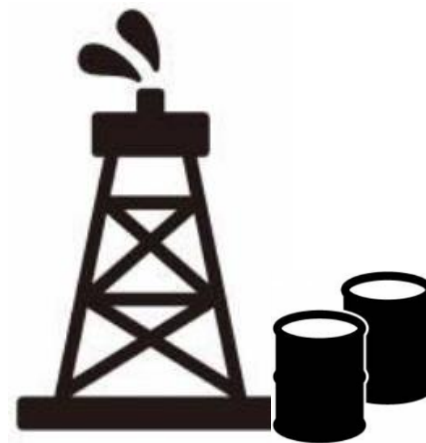
「契約集約的」產業



勞働

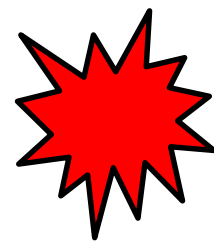


資本



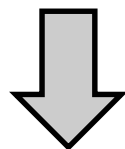
土地
(天然資源)

生産機能が一極集中するリスク



(東日本大震災、タイの洪水、リーマン・ショック、サイバー攻撃…)

→ 部品や原材料の調達先分散が急務に！



デジタル化による輸送費用・取引費用の低下

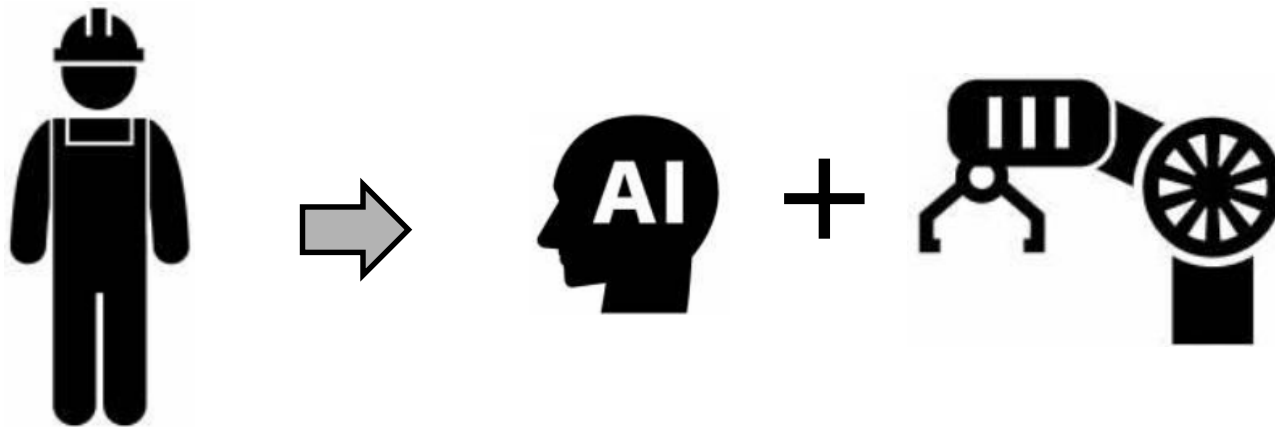
- ・ 情報通信技術の発達による物流システムの合理化、
- ・ 電子商取引やブロックチェーン技術の普及

→ 新たなサプライヤーの開拓を容易にし、
サプライチェーンの国際分散を促進。

生産現場における製造工程の自動化

自律ロボット・AI…

→ 安い労働力のみに依存した途上国からの生産転出。



生産拠点をどこへ移転するか？

…**制度の親和性**が高い国へ。

Wall Street Journal 6 February, 2020

Let the Trans-Atlantic Trading Begin



サプライチェーンの国内回帰？

- ・ リスク分散の視点から生産拠点の国内回帰を提唱する意見？？？
 - … 自国でまた生産集中が起こったらリスク分散にならない。為替リスクの影響も。
- ・ ロボット化による生産工程の自動化
 - … 途上国からの移転先が企業の母国である必然性はない。むしろ消費市場に近い場所への分散移転が進む。

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策

令和2年4月7日 閣議決定

「国内回帰や多元化を通じた
強固なサプライチェーンの構築を支援する。」

しかし・・・

- ・国内回帰は、あくまでも多元化、すなわちサプライチェーン分散の一環として位置づけるべき。
 - ・こういった製品・技術が、安全保障の観点から国産化を必要とするのかを厳密に定義し、そこに限定する。
- やみくもな国内回帰は、日本企業の生産性を低め、そのサプライチェーンを脆弱にする。



国家資本主義



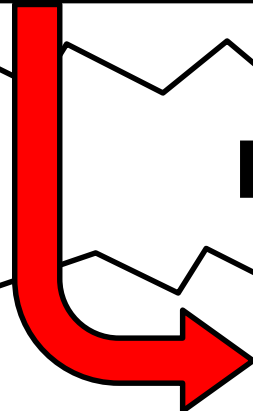
DE-COUPLING
DE-COUPLING



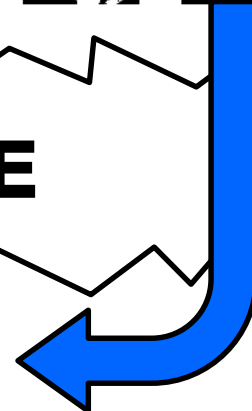
市場資本主義



DIGITAL DIVIDE



低 開 発 国





国家資本主義



市場資本主義

「部分的／管理された」デカップリングへ

- * 食料／医療、
- * エネルギー、
- * 情報通信技術

・
・

グローバル・バリューチェーン ― 新・南北問題へのまなざし

日本経済新聞出版社 2019年7月刊行

猪俣哲史 著

毎日新聞社／アジア調査会主催「アジア・太平洋賞 特別賞」受賞、
大平正芳記念財団主催「大平正芳記念賞」受賞

【本書の特徴】

- ・ 現在、世界的に注目を集めている「グローバル・バリューチェーン」という経済概念、およびその最新動向を、初めて和書として紹介。
- ・ 米中対立や第4次産業革命など時事問題を構造的／体系的に捉え、その学術的知見を、数式や専門用語に頼らず、一般読者向けに平易に解説。
- ・ 環境問題など様々な分野で応用が進んでいる国際産業連関分析についての紹介という副次的な役割も想定。

【目 次】

はじめに

第1章 GVCとは何か

第2章 GVC誕生秘話 東アジアの統合された多様性

第3章 怒れる米国、かわす中国 GVCをめぐる超大国のロジック・ゲーム

第4章 付加価値から見た世界経済

第5章 価値は世界をどう巡っているか 付加価値貿易の計測手法

第6章 技術革新と経済発展

第7章 GVCパラダイム 新・新・新貿易論？

第8章 新・南北問題の解決へ向けて 政策への含意

終章 第4次産業革命とGVC